

倉敷まきび支援学校 高等部 blog

4月21日、自転車安全運転講習を本校体育館で行いました。

玉島警察署から、岡崎聖史様に来校していただき、自転車を安全に利用するうえで必要なことをDVD教材や校舎の周囲の道路の写真で、自転車がどこを走ったら良いかを確認しながら教えていただきました。

お話の中で自転車は、自分の身を守るガードがないため、もし事故に遭ったら大きな怪我や、時として命まで失いかねない危険性があること、併せて自転車は、相手に対しても大きな怪我を負わせることがあることも学び、交通ルールを守って利用することに加え、そこの角から車が出てくるかもしれないなど、「〇〇するかもしれない」ことも考える「かもしれない運転」の大切さも教えていただきました。

生徒からは「かもしれない運転」を意識して、自転車を事故無く使いたいなどの感想が発表されました。

